雑草防止工法 NETIS

NETIS登録番号：KT-160069-VR

特長・ポイント

雑草を無くすことで、「景観が良くなり道路環境の改善」になります。

歩行者、自転車走行の様な「弱者に優しい構造」で、「交通事故の減少に寄与」します。

維持管理に要する「草刈り費用が削減」されます。

ブロックの「施工性は従来と同じ」です。特に舗装材の新設施工や撤去工事等も従来と同じ要領で行えます。

最初に施工を始めてから十数年と「圧倒的な実績」を誇り、その「施工総延長は数百キロメートル」と日本一です。

施工後の評価も大変良く、官公庁によっては、「従来と同じ価格なら」と「工法指定」を頂く場合もよくあります。

製品単価も施工費も従来施工と全く同様で「積算も至極簡単」です。

「NETIS登録はすでに10年間掲載済み」で、実績共に申し分ありません。現在は「公知の優れた工法として認知」されて居ます。

「従来製品の形状をほぼそのまま確保」しているので車の衝撃荷重に対しても強く、安全性も向上します。

雑草防止工法の突起部は、「植物の成長を確実に止める効果」が有ります。また「舗装部が突起としっかり噛み合う」ため、「舗装がひび割れたり、ずれたりしない効果」が有ります。

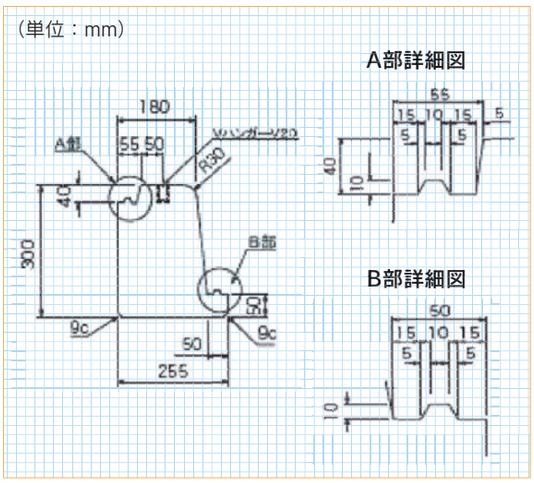
雑草防止工法に対応する製品には、歩車道境界ブロックのみならず「排水型歩車道境界ブロック・暗渠形側溝・鉄筋コンクリートL型・溜桝・L形擁壁」等、多岐にわたります。（表紙の図面参照）

施工写真

左側：「雑草防止工法」により施工
※雑草が全く生えていません。

右側：通常のブロックで施工
※肌別れして雑草が繁茂しています。

■歩車道境界ブロック寸法例



「日本雑草防止工法研究会」は、産業財産権（特許・実用新案・意匠登録等）を多数取得しています。